長岡

仙崎

丸甲 大里西

稲沢北 清水

大里駅前

千代田 祖父江

牧川 大里東

緑町

坂田

稲沢西第1

片原一色

平和第1

平和第2

公団

小池

二俣

赤池

大塚

井之口

高御堂

平和第4

稲沢西第2

附島

森上

矢合

下津

平和第3

善光寺

平和第5

子生和

小正

長野

20

稲沢西第3

駅前

会

議

# **■稲沢市議会議員選挙投票率**(投票所別、投票率順、期日前含まず)

47.14

44.83

44.76

41.71

41.3

40.18

39,44

38.57

38.41

38.01

**■**36.98

36.87

36.87

36.74

36.71

36.21

35.19

34.76

34.58

34.45

34.42

34.38

40

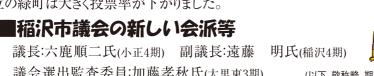
33.01

32.54

30.77

前々回の平成23年の投票率は56.80%と60%を割り込み、前回の平成27年は54.44%、今回も低落 傾向は止まらず51,06%でした。投票日当日の投票率は前回の44.38%に対し今回は38.52%、期日前 投票率は12.54%と前回よりも2.48ポイント上昇しています。投票所別側目前含まずでは、長岡、山崎、丸 甲、大里西、稲沢北のトップ5に対し前回4位の緑町は大きく投票率が下がりました。





議会選出監查委員:加藤孝秋氏(大里東3期) (以下、敬称略、期数、名	
創生会 (16名)	服部 猛⑤ 長屋宗正⑤ 会長出口勝実⑤ 網倉信太郎④ 木村喜信④ 六鹿順二④ 東野靖道③ 吉川隆之③ 幹事長大津丈敏③ 会計服部礼美香② 津田敏樹② 近藤治夫① 黒田哲生① 北村太郎① 平野賀洋子① 杉山太希①
市民クラブ (6名)	星野俊次⑤ 会長遠藤 明④ 会長代行·幹事長木全信明③ 会計志智 央② 冨田和音① 岡野次男①
公明党稲沢市議団(2)	団長杤本敏子⑤ 会計加藤孝秋③
(尾張新都クラブ)野々部尚昭⑦ (日本共産党稲沢市議会議員団)曽我部博隆④	

### ●産業イノベーション推進特別委員会



抗がん剤治療を終えて退院して最初の公務は、委員長 を拝命している産業イノベーション推進特別委員会で杉 材による合板製作機械を開発した(株)名南製作所の県 内調査と「AI,Iotを始めとする最先端技術に係る世界の状 況」と題し参考人招致による委員会を開催しました。

#### ●ウルフドッグス名古屋 西尾張後援会設立総会



バレーボールVリーグの豊田合成トレフェルサがウルフ ドッグス名古屋(マスコットはウルドくん)に改称して西尾張地 副会長には豊田合成からお迎えしている稲沢商工会議所 財津副会頭はじめ関係商工会会長が就任されました。

#### ●連合愛知尾張南地協ファミリー大ボウリング大会



尾張南地域協議会稲沢地区連絡会のファミリー大ボ **ウリング大会が開催され、鈴木もご挨拶させて頂き鈴木忠** 南地協代表(豊田合成労組委員長)と**₩鈴木**による始球式 こ!鈴木はコケてしまいましたが、鈴木代表が見事ストライ

### ●福祉医療委員会県内調査in明治愛知工場

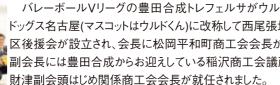


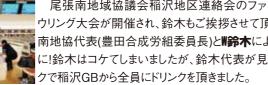
福祉医療委員会の県内調査が平和三宅工業団地の 中核企業として入居頂いた株式会社明治愛知工場で行 われ地元議員として歓迎のご挨拶をしました。明治愛知工 場は見学施設の**明治なるほどファクトリー愛知**をイベ 小時に解放頂くなど地域密着の社会貢献もしています。

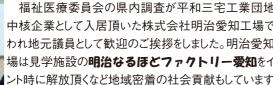
## ●令和元年度稲沢市敬老式



令和最初の敬老式にて、鈴木は地元県議を代表して 健康長寿、交通安全、防犯(特殊詐欺)などをお願いすると









TEL 24-6600 FAX 23-0791

代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

告は新政あいち県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください

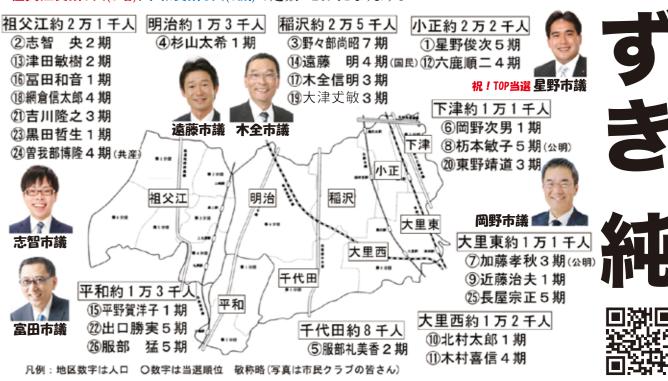


# ■愛知県議会令和元年9月定例会

10月15日に閉会した9月定例会では、ジブリパー ク開業に向けた公園整備等に0.75億円、**SDG s 未 来都市あいち**の推進に0.14億円(新規)、**スタート** アップ企業を支援するための拠点整備に0.24億 円、ロボカップジャパンオープン2020愛知に0.38億 円(新規)、豚コレラの緊急対策に38.98億円など一 般会計補正予算127.85億円に特別・企業会計の 合計132.26億円の予算及び、条例関係、塩谷プロ の教育委員等その他の議案も含めすべて可決同 意しました。

# ■稲沢市議会議員選挙地域別当選者

9月15日告示、22日に執行された市議会議員選挙には、現職18人、元職4人(うち市長選出馬の 候補は2人)、新人12人(うち勇退等の後継候補は6人)の34人が立候補し激戦となりましたが投票 率は51.06%でした。前回同様上位8人が2.000票を超える中、当選ラインは前回より千票ほど下が り1,400票前後でした。**当選者のうち現職は16人**で現職2人が落選、元**職3人**は市長選を戦った2 人に加え共産党の元職が返り咲き(但し共産党は現有2議席が1に)、新人7人(うち後継候補4人) です。落選8人は現職2、元職1、新人5です。旧稲沢の当選者は現有の16人(小正1減、下津1増)、 祖父江支所7人(1増)、平和支所3人(1減)で定数の26人となります。



稲沢市議会9月定例会の閉会日に鈴 魚住明議員、杉山茂和議員、平野實和 議員、川台正剛議員、渡辺幸保議員は お礼のご挨拶をさせて頂きました

28.31

30

鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

# ■あいちレポート2018から②

あいちビジョン2020推進のために社会状況の変化を踏まえつつ本県を取り巻く構造的なテーマについての分析、 取組状況と今後の方向などについて紹介したあいちしポート2018からの抜粋です。

### 【第1章】愛知の地域づくりを巡る現状と課題

### 3. グローバル化の進展と国内外の交流の拡大

- ・本県の輸出額は約16.3兆円で日本一、輸出額のアメリカの 占めるシェアが最も大きくその6割以上が自動車及び自動車 の部分品等、貿易黒字は約8.9兆円
- ・本県を訪れる外国人数は255.5万人と増加しているが、東京 都の1/5以下、大阪府の1/4以下にとどまっている
- ・日本人・外国人合わせた観光目的以外の宿泊者数の割合が 全国で3番目に高い
- ・在留外国人人口は25万2千人で東京都に次いで全国2番目、 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数は7,277人と全国 最多

### 4. 県民の暮らしの環境変化

- ・世帯構成は夫婦と子供の世帯が減少し、単独世帯の割合が 増加傾向にあり現在3世帯に1世帯の割合で単独世帯、65歳 以上人口のうち単独世帯の割合は男性12.3%、女性18.9%に 上昇
- ・女性の年齢階層別有業率における#字カースの谷は70.9%と 浅くなったものの対全国比▲3.1%と全国より低(深)い
- ・本県は東京都や大阪府、全国より所得格差が小さく、全国に 比べ400~1000万円未満の世帯が多い傾向にあり中間所得 層が多いことが特徴
- ・愛知子ども調査によると子どもの貧困率は5.9%と全国より低い が、ひとり親家庭では貧困率52.9%と全国を上回る
- ・県民の幸福感の平均点は10点満点中7.2点と上昇(2015年 6.3)、判断事項では家族関係が58.1%で最多

### 5. 持続可能な社会の実現

- ·SDGs実施指針によるあらゆる人々の活躍の推進、健康・長寿 の達成などの8つの優先分野に対し地方自治体の役割
- ・パリ協定に対しあいち地球温暖化防止戦略2030に基づき国 と同じ2030年度に2013年度比▲26.0%の目標設定

## 6. 災害・犯罪など県民の安全・安心を脅かすリスク

・交通死亡事故の高齢者の死者数は54.5%、運転免許人口に 占める75歳以上の高齢運転者の割合は約6.8%

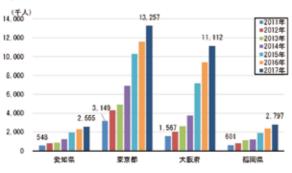
#### 7. リニア中央新幹線の整備進展と大都市圏整備

- ・国人口に占める三大都市圏人口は51,9%と半数を超え特に 東京圏への人口集中が進んでいる
- ・2027年度リニア開業により首都圏から中京圏に及ぶ5千万人 規模の大交流圏が誕生、最短で2037年全線開業で首都圏、 中京圏、関西圏の三大都市が一体化した人口7千万人規模

# のスーパー・メガリージョンを形成(北陸圏との対流・連携も)

・三大都市圏の中で愛知は製造、農林水産、自然、住居等に強 みがあり総合的に見た住みやすさという点で優れている

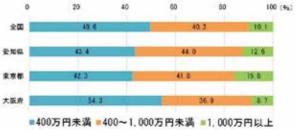
### ◆愛知県・東京都・大阪府・福岡県の外国人旅客数の推移



### ◆女性の年齢階層別有業率 (M字カーブ)



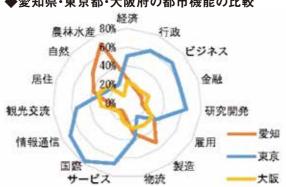




### ◆老人クラブ数と会員数の推移



## ◆愛知県・東京都・大阪府の都市機能の比較



# ■あいちレポート2018から3

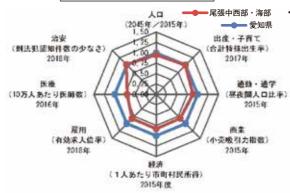
あいちビジョン2020推進のために社会状況の変化を踏まえつつ本県を取り巻く構造的なテーマについての分析、 取組状況と今後の方向などについて紹介したあいちしポート2018からの抜粋です。

### 【第1章】愛知の地域づくりを巡る現状と課題

#### 8. 県内の地域構造と各地域の現状と課題

- ・本県全体の人口は2020年をピークに減少局面に入ると見込ま れるが地区別では2020年以降も引き続き人口増加の名古屋 地区及びその周辺や西三河地区のような地区がある一方、 既に人口減少が始まっている東三河地区など状況は異なる
- ・名古屋地区への転出入の動きでは尾張中西部・海部地区以 外の全地区から転入超過、世代別では0~9歳と30~39歳の 子育て世代を除く全世代で転入超過であり、特に20~29歳の 世代において1.508人と大幅な転入超過
- ・名古屋駅等を利用して通勤・通学する若年層だけでなく、中 高年齢者にとっても公共交通機関や商業施設、医療機関等 の利便性から都市部での居住を志向する動きがみえ、主要 私立大学の名古屋都心部への移転も進んでいる
- ・三河山間地域や半島先端地域では人口減少が進み公共 サービスや生活サービスを提供する人口規模の維持できなく なり集落機能の弱体化や地域活力の低下が懸念される
- ・大都市名古屋市を中心に各地域の主要都市が連携する多 核連携型の都市構造を強みとしてきたが名古屋の求心力が 高まる中で豊橋市が人口減少に転じるなど各地域の主要都 市の活力低下が懸念される

## 尾張中西部·海部地区



·名古屋市の北西部 に位置する尾張中西 部·海部地区(-宫、稲 (基表開人口止事) 西、弥富、あまの8市3町1村) は一宮市を中心に繊 維産業で発展するも 近年は名古屋市の ベッドタウンの傾向

1.50~1.6t

1.25~1.49

1.20~1.31

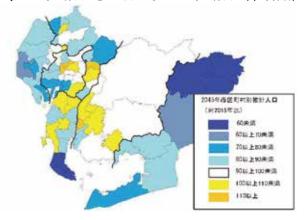
1.05~1.19

- ・県営名古屋空港周辺や臨海部では航空宇宙産業の集積が 進んでいるほか、海部地区は県内有数の農業地帯
- ・日本最大のゼロメートル地帯で ●合計特殊出生率(2013年~2017年) は南海トラフ地震への対応が課題
- ・地区全体人口は約101万人で県 全体の13.5%、清須市、北名古屋 市、豊山町、大治町を除き県平均 よりも人口減少が進む見込み
- ・産業構成比等では製造業の割合 が低いが、市町村別の総生産で は稲沢、清須、豊山で製造業が 40%超(vs一宮19.5%)

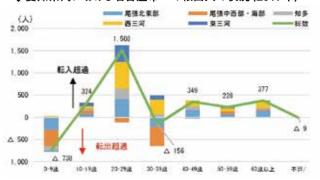
### ◆県内6地区の区割り



◆2015年の総人口を100とした時の2045年の総人口(市町村別)



### ◆愛知県内における名古屋市への転出入の状況(2017年)



#### ◆尾張中西部・海部地区の人口増減率(2010年→2018年)

